

ある日突然連れ去られ、
今も救出を待ち続けている。
それが、もしも自分だったら、
自分の家族だったら…

北朝鮮による拉致問題の解決に向けて あなたも「拉致問題」について考えてみませんか？

北朝鮮による 拉致問題とは

1970～80年代を中心に、多くの日本人が北朝鮮に拉致されました。政府が北朝鮮による拉致被害者として認定している17名のうち、帰国を果たしたのは20年前に5名のみ。残りの12名は今なお北朝鮮にとらわれたままであり、本県出身の方も含まれています。

また、このほかにも拉致の可能性が疑われる行方不明の方が多数存在しています。

本県の拉致被害者



いちかわ しゅんいち
市川 修一さん
(当時23歳)



ますもと るみ子さん
増元 るみ子さん
(当時24歳)

1978年8月12日、二人は日置市の吹上浜海岸に出かけたまま、こつぜんと姿を消しました。

拉致被害者ご家族からのメッセージ

拉致問題は政府の最重要課題として位置付けられています。政府は一刻も早く日朝首脳会談を実現させ、主権国家としての証しを見せていただきたいです。

国民の強い支持がなければ外交は動かせません。県民の皆さん、理不尽な拉致問題解決のために、私たち家族に力をお貸しください。

お願いいたします。



市川 健一さん
(市川修一さんの兄)

*12月10日(土)～16日(金)は、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。
県内各地で「北朝鮮による拉致問題に関するパネル展」を開催しています。詳しくはこちら▶



ブルーリボン
拉致被害者の
生存と救出を
信じる意思表
示を表してい
ます。

問い合わせ先 社会福祉課 ☎099-286-2828

◆県の人口1,563,124人 (前月比 -1,051人)
◆世帯数730,764世帯 (前月比 -302世帯)
(令和4年10月1日現在推計)

情報BOX

県政かわら版は県内全戸配布の
広報紙です。音声版と併せて、県
ホームページでもご覧いただけます。



鹿児島で暮らそ! 進学・就職応援フェア 「みらいワーク“かごしま”」

鹿児島県内の企業や学校などの魅力を
紹介する進学・就職応援フェアを
開催します。入場無料・事前申し
込み不要です。

【日時】
12月11日(日)12時～16時
(受付開始 11時45分～)

【場所】
県民交流センター 2階・6階

【対象】
中学生・高校生・保護者等
*就職を考える短大生・大学生・専門
学校生の方もご参加いただけます。



問い合わせ先 県産業人材確保・移住促進課 099-286-3098



かごしま世界遺産 デジタルスタンプラリー

鹿児島県内の3つの世界遺産「明治
日本の産業革命遺産」、「屋久島」、
「奄美大島・徳之島」とその周辺離島
の観光地を巡るデジタルスタンプ
ラリーに参加しませんか。

対象エリアを周遊し、獲得した
スタンプ数に応じて賞品に応募され
た方に、抽選で鹿児島の特産品等をプレゼントします。

【実施期間】
令和5年1月31日(火)まで

【対象施設】
3エリア(鹿児島・屋久島・奄美)内
21カ所



問い合わせ先 県PR観光課 099-286-3008



NPO法人等の地域貢献活動を 応援してみませんか？

「かごしま応援寄附金(ふるさと納税)」を活用
して、県内のNPO法人や地域コミュニティ等が
取り組む地域貢献活動を支援する「地域貢献活動
応援プロジェクト」を実施中です。

県外にお住まいのお知り合いの方へ寄附をお声
かけするなど、鹿児島の地域をみんなで盛り上げ
ませんか。

【寄附募集事業】
観光振興、高齢者・障害者支援、
集落行事継承、子どもたちの健全育成
など8事業

【寄附受付期間】
12月31日(土)まで

問い合わせ先 県くらし共生協働課 099-286-2241



県立病院で一緒に働く医師を 募集しています

鹿児島で働きたい医師の応募をお待ちしています。
ご家族やお知り合いにUターンなどを検討している
医師がいる方は、ぜひお声がけください。

【募集期間】 随時

【応募資格】
次の要件をいずれも満たす方
・医師免許取得後2年以上経過している方
・採用後1年以上勤務できる方

*詳しくは、県立病院局のホームページ
をご覧ください。下記または各県立
病院(鹿屋医療センター、大島病院、
薩南病院、北薩病院、始良病院)まで
お問い合わせください。



問い合わせ先 県立病院局県立病院課 099-286-2820



年末年始の事件・事故に 注意しましょう

12月10日～1月10日は、年末年始の地域安全運動・
交通事故防止運動実施期間です。

年末年始は慌ただしく、事件・事故が起こりやすい
時期です。県民の皆さま一人ひとりが犯罪や事故を防止
する意識を持って、安全安心な年末年始を過ごせるよう
に努めましょう。

【注意したいポイント】

- 1) 外出する際は、必ず鍵をかける。
- 2) 「うそ電話詐欺」に気をつける。
- 3) 早朝、夕暮れ時、夜間に外出する際は、夜光反射材を着用する。
- 4) 車に乗車する際は、全席シートベルト着用を徹底する。



問い合わせ先 県くらし共生協働課 099-286-2523



ノロウイルス食中毒を 予防しましょう

ノロウイルスによる食中毒は、主に、感染した調理
者を通じた食品の汚染により発生します。ノロウイルス
は、感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起
こしやすいため、注意が必要です。

【主な症状】
嘔吐、腹痛、下痢など

【予防のポイント】
・せっけんを用いて、手指を十分
洗浄する。
・下痢や風邪等に似た症状がある
場合には、調理に従事しない。
・食品は中心部まで十分に加熱する。



問い合わせ先 県生活衛生課 099-286-2786

営利を目的とする場合を除き、この広報紙をそのまま読むことが困難な方のために「点字図書」、「拡大写本」、「録音図書」などの読書代替物への媒体変更を行うことは自由です。